

県内企業景気動向調査報告（2025年10～12月期）

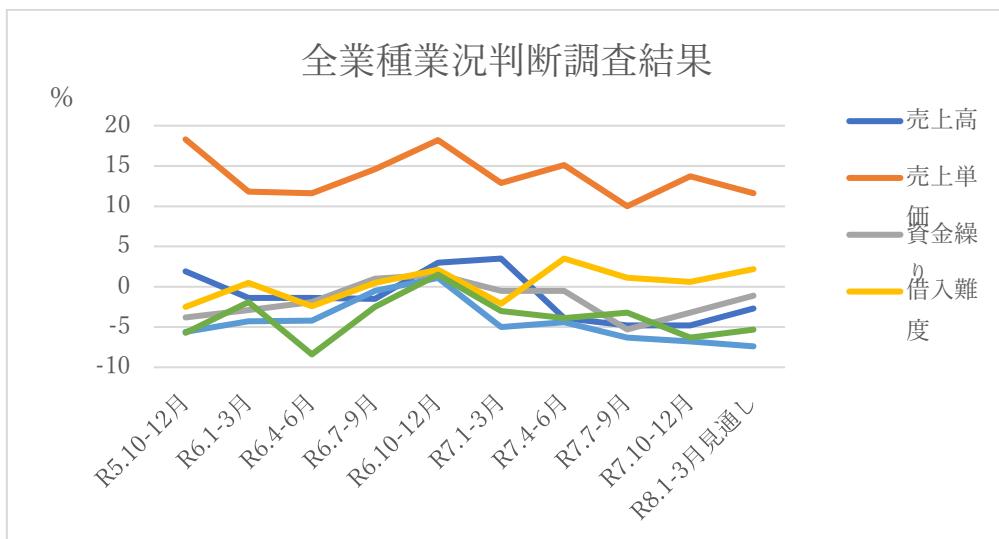
今期の「業況判断」は下降、来期はわずかに上昇する見通し

調査対象	鳥取県内企業（鳥取県下4商工会議所の調査による）
回収数	95社【製造業24社、非製造業71社（建設業20社、卸売業18社、小売業18社、サービス業15社）】

＜今期・来期の状況＞

全業種における今期の状況は、「売上単価」と「資金繰り」が上昇、「借入難度」「収益状況」「業況判断」は下降しているが、「売上高」は横ばいとなった。最も大きく変動したのは「売上単価」で、前期から3.7ポイント上昇した。業種別の「業況判断」では、製造業が前期から2.1ポイント上昇、非製造業が4.9ポイントの下降を示した。非製造業は卸売業が上昇、建設業と小売業、サービス業が下降を示しており、最も変動が大きかったのは建設業で、前期から12.5ポイントの下降となっている。

来期の見通しについては、「売上高」「資金繰り」「借入難度」「業況判断」の4つの項目で上昇が見込まれている。業種別の「業況判断」では、製造業、卸売業で下降、建設業、小売業、サービス業で上昇が見込まれており、最も変化が大きいと予測されているのは卸売業の5.6ポイントの下降と小売業の5.6ポイントの上昇であった。



業種	回収数	前年同期比*					来期(2026.1~3期)見通し*				
		売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度
全産業合計	95	-4.8 (-3.0)	13.7 (-18.2)	-3.2 (-1.5)	0.6 (-2.1)	-6.8 (-1.1)	-8.3 (-1.5)	-2.7 (-5.5)	11.6 (-11.6)	-1.1 (-25.0)	2.2 (-0.5)
製造業	24	4.2 (9.6)	14.6 (-13.5)	0.0 (0.0)	0.0 (-3.9)	10.4 (-7.7)	4.2 (-5.8)	4.2 (-1.9)	14.6 (-5.8)	-2.1 (0.0)	0.0 (5.8)
非製造業	71	-7.8 (0.7)	13.4 (-19.9)	-4.3 (2.1)	0.7 (-1.4)	-12.7 (-1.4)	-9.9 (0.0)	-4.9 (-8.1)	10.6 (13.7)	-0.7 (-3.4)	2.9 (-0.7)
(建設業)	20	-5.0 (13.7)	12.5 (-18.2)	2.5 (-11.4)	7.5 (-6.9)	-7.5 (-9.1)	-2.5 (-6.9)	10.0 (-9.1)	10.0 (9.1)	2.5 (4.6)	0.0 (4.6)
(卸売業)	18	11.2 (2.8)	25.0 (22.2)	-8.4 (0.0)	2.8 (-2.8)	-2.8 (-2.8)	-2.8 (-2.8)	-13.9 (-5.6)	13.9 (16.7)	0.0 (0.0)	2.8 (2.8)
(小売業)	18	-22.2 (-13.2)	5.6 (16.7)	-5.6 (-7.9)	-5.6 (-7.9)	-22.2 (-10.5)	-18.7 (-7.9)	-5.6 (-13.2)	13.9 (19.4)	-5.6 (-132.0)	0.0 (-7.9)
(サービス業)	15	-16.7 (-3.4)	10.0 (23.4)	-7.2 (3.6)	-3.9 (3.9)	-20.0 (-3.9)	-20.0 (-3.4)	-13.3 (-3.3)	3.4 (10.0)	0.0 (-7.2)	3.9 (-3.9)

BSI=1/2(X-Z)、X=上昇・増加、Y=横ばい、Z=減少・下降、ただし(X+Y+Z=100)

＜直面している経営上の問題点＞

- 1位：原材料・仕入価格上昇 (19.85%)
- 2位：経費の増加 (15.81%)
- 3位：人手不足 (13.60%)
- 4位：消費・需要の停滞 (11.03%)
- 5位：売上・受注の減少 (13.24%)

<業種別の問題点等>

◆建設業

- ・建設業に関わる事業なので、公共工事発注量減の影響を受けている。
- ・公共工事（建築）の発注件数が少ない。

◆製造業

- ・物価高で消費が鈍いうえに、直接輸入している商品が円安影響でコストアップしている。また、今後中国との関係悪化が輸入仕入にどのような影響をもたらすのか危惧される。
- ・設計（機械・制御）の人材確保が進まない。

◆卸売業

- ・青果物の生産コスト増加、物流コスト増加により仕入単価等が上昇している一方で販売価格に転嫁できない。

◆小売業

- ・同業者の減少。修理技術者がいないことが現状。